

第1回今帰仁村人口ビジョン・総合戦略策定委員会 議事録

日 時	平成 27 年 10 月 19 日 (月) 10 : 00 ~ 11 : 45																																											
場 所	今帰仁村議会議員控室																																											
出席者	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体名</th> <th>策定委員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>沖縄大学 地域研究所 特別研究員 法経学部 非常勤講師</td> <td>島田勝也</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>公立大学法人名城大学 国際文化研究科 国際学群 観光産業教育研究学系 上級准教授</td> <td>大谷健太郎</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>今帰仁村商工会 経営指導員</td> <td>田場誠</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>今帰仁村観光協会 事務局長</td> <td>又吉演</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>今帰仁村農業委員会 会長</td> <td>米須清和</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>村出身産業界 (現今帰仁郷友会会長)</td> <td>真栄田久</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>今帰仁村青年会 会長</td> <td>上間哲朗</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>今帰仁村老人会 会長</td> <td>玉城清</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>今帰仁村区長会 会長</td> <td>田港朝茂</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>今帰仁村議会 議員</td> <td>與那勝治</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>今帰仁村役場 幼保連携推進室長</td> <td>宮里晃</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>今帰仁村役場 福祉保健課長</td> <td>仲村美奈子</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>今帰仁村役場 経済課長</td> <td>島袋輝也</td> </tr> </tbody> </table>			団体名	策定委員	1	沖縄大学 地域研究所 特別研究員 法経学部 非常勤講師	島田勝也	2	公立大学法人名城大学 国際文化研究科 国際学群 観光産業教育研究学系 上級准教授	大谷健太郎	3	今帰仁村商工会 経営指導員	田場誠	4	今帰仁村観光協会 事務局長	又吉演	5	今帰仁村農業委員会 会長	米須清和	6	村出身産業界 (現今帰仁郷友会会長)	真栄田久	7	今帰仁村青年会 会長	上間哲朗	8	今帰仁村老人会 会長	玉城清	9	今帰仁村区長会 会長	田港朝茂	10	今帰仁村議会 議員	與那勝治	11	今帰仁村役場 幼保連携推進室長	宮里晃	12	今帰仁村役場 福祉保健課長	仲村美奈子	13	今帰仁村役場 経済課長	島袋輝也
	団体名	策定委員																																										
1	沖縄大学 地域研究所 特別研究員 法経学部 非常勤講師	島田勝也																																										
2	公立大学法人名城大学 国際文化研究科 国際学群 観光産業教育研究学系 上級准教授	大谷健太郎																																										
3	今帰仁村商工会 経営指導員	田場誠																																										
4	今帰仁村観光協会 事務局長	又吉演																																										
5	今帰仁村農業委員会 会長	米須清和																																										
6	村出身産業界 (現今帰仁郷友会会長)	真栄田久																																										
7	今帰仁村青年会 会長	上間哲朗																																										
8	今帰仁村老人会 会長	玉城清																																										
9	今帰仁村区長会 会長	田港朝茂																																										
10	今帰仁村議会 議員	與那勝治																																										
11	今帰仁村役場 幼保連携推進室長	宮里晃																																										
12	今帰仁村役場 福祉保健課長	仲村美奈子																																										
13	今帰仁村役場 経済課長	島袋輝也																																										

1.開会

2.委嘱状の交付

- ・ 村長から各委員へ委嘱状の交付。

3.村長挨拶

4 委員長・副委員長の選出

5.委員自己紹介

- ・ 各委員より自己紹介

4.今帰仁村の現状

事務局より資料説明。

5.内閣官房まち・ひと・しごと創生本部による人口推計

事務局より資料説明

6.人口ビジョン（独自の人口推計）素案

事務局より資料説明

7.議事

委員長	<ul style="list-style-type: none">・ 自己紹介を兼ねながら、今帰仁村の長期ビジョンを考えたときに、何かそれぞれの立場でご意見があれば伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none">・ 今までは、人口を中心に今帰仁を考えると気持ちも落ち込んでくる、これからは、今帰仁の良い所を多く出し、希望の持てる人口、維持できる方法を考えていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none">・ 人口ビジョンでは、U ターン者を増やすことが重要ではないか。実家がある、親族がいるということで負担が減る。また、高齢者の世話をしてくれる。・ パブリックコメントは村内だけか。今帰仁村から出て行っている方が帰ってくると想定したときのコメントが聞けると参考になるのではないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none">・ 今帰仁ゆかりの人ということでパブリックコメントの範疇に入ると言っていると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none">・ 仕事は、子育て支援、保育所の待機児童の解消等に係わっている。・ 先程の人口ビジョンでは、各年齢層への支援とある。0歳から4歳、5歳から9歳への子育て支援の充実、高校進学への支援など、やはり人口を増やすには、トータルで子育てしやすい全体的な支援を入れ込んで充実させていかなければならない。医療費助成など、今後そのような部分で重要な施策を出していきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none">・ 特に住民サービスに関しては市町村により差が出てきてしまう。
委員	<ul style="list-style-type: none">・ 福祉の面では、国の制度が変わり、村独自のサービスで何ができ

	<p>るのか、何が必要とされているのかで住みよい今帰仁村につながる。財政の面もネックになるが、人と人とのつながりを考えながら業務を進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性として産む、産まないは、その女性による。 ・ 人口が増えるのは、先程もあったが、Uターンも大きな要素である。私も現在子どもが6人いるが、その子ども達が大学進学などで村を離れ、その後戻ってくるために、土地を準備、分けてあげるなどがないと子ども達も戻って来ないのではないかと切実に感じる。農地の問題、住宅地の確保も一つの大切な部分ではないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保連携推進室、福祉保健課の分野は、今帰仁は色々な施策を考え進んでいると感じる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業従事者の意見、物の生産と人の生産、産む方と農産物の生産は同じ。人が増えれば、子どもの数も増えていくであろう。病気、癌で亡くなる方が多い、自殺などの問題、若い人の脂肪、体重もデータで見ると高い。自然減を減らし、自然増を増やしていきたい。 ・ 社会動態については、どのような産業を興せばいいのか、港湾施設があり、基地がない中でどのように産業の育成ができるのか興味を持っている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事が増えるというのは、即効的な解決策になっているので、よろしくお願ひしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを取り入れ元気になっている。楽しい会にするには、話しをし、スポーツをし、色々なものを取り入れ、皆で支えもう一度一緒に出来るものを取り組んでいきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目の東京オリンピックのときには11人で1人を支え、次のオリンピックには2人で1人を支え、2030年には1人で1人を支えるという概念があるが、それは間違っているのではないか。老人会は支えるものではなく、活躍してもらうものである。一緒に取り組むという考えがいいのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷友会とは、今帰仁村出身の中南部にお住まいの方と、そのお子さん、お孫さんなどで構成している。最近では中南部の行き来も頻繁なので、郷友会の回数、交流が薄れつつある。現在2世、3世の世代になってきている。中南部に住んでいるお子さん、お孫さんにも今帰仁村の良さを村祭りや運動会などの交流を通して伝えたい。私自身、今帰仁を離れ40年経つが、期間が長くなればなるほど今帰仁の良さが心の中で湧いてくる。若い皆さんにも自分

	<p>のルーツである今帰仁村が素晴らしい所であるということを知ることがここに来て知り、また、住んでくれたらなお良い。そのためには、雇用の確保、住宅の問題などあるが、若者が集まれば活性化していくのではないかと、郷友会としても考えていきたい。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 郷友会、老人会は非常に頼りになる組織になる。先程、委員からもあったように、郷友会を含めたコメント、住民票がある人が今帰仁村の人であるというのはこれまでの常識の話であり、制度的にもふるさと納税が出てきて、柔軟に色々考え方を変えていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 今帰仁村は後継者が多く、農業が盛んであるが、魅力ある農業であれば、若い人だけが競っている。畜産を利用したレストランなど、6次産業を利用した観光農業も意識すると若者がもっと増えるのではないかと。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 仕事を増やすという色々な分野でご意見を頂きたい。国の動き、TPPが入り、10年後には大きく様変わりしている。今帰仁ブランドをどう価値あるものにシフトしていくか、この辺も知恵を出し合い考えていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 那覇からの移住者、Uターンではなく今帰仁2世のIターン。那覇にいるよりも今帰仁村にいた方が成功の確率が高い、それが魅力的だと思い移り住んだ。人口ビジョンの部分では人口が増える取り組みをやっていきたい。 添付資料5. 今帰仁村第4次総合計画の概要(2)むらづくりの課題 ②基幹産業である農業の振興とあるが、今帰仁村の農業は他の市町村と比べても良い状況だとは思いますが、現在、就労人口は減ってきており、反して観光産業、第3次産業は増えている。基幹産業とは、経済的に支える産業であるので、農業ではなく、3次産業を基幹産業とし、6次産業で農業を推進するという考え方を考えて頂ければと強く思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 農業も観光も両方成り立たなければいけないという状況が起きている。一つでは成り立たない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 今帰仁村の人口はほぼ横ばい、都市化、一方では過疎化が進む中で横ばいというのは立派ではないかと。 資料の中で従業者数が減少しているとあったが、ここ数年、商工会の会員数は増加傾向にある。古宇利島ではホテル、飲食店などがあり、今泊でも起業する方が増えているので、実際は14年以降はまた増えているのではないかとと思う。古宇利島は県外からの

	<p>方が増えている。早期退職した50代後半60代の方がこじんまりと経営している。県外から積極的に人口を増やすというよりは、地元で呼び込む方が良い。仕事があれば住みたいかどうかというアンケートも実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今帰仁村も先日、ふるさと納税特設サイトをインターネット上に開設した。現在約120件、寄付金120万。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 商工会が元気ということは村にとってすごく宝物である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 生産人口の世代、高校卒業後、本土に行ったメンバーはそこで家を建てている。また、学生で那覇方面へ行ったメンバーはそこで出会いがあり結婚をし、帰って来ないというパターンが多い。それが何十年と続いているので人口が増えない、横ばいというのは仕方ないと感じた。そこで先程もあったように村外に出て行った人へアンケートをとるのは良いと思う。 別件で調査、家を回ったときに「調査物が多い」という話があった。おそらく年齢が高い方で、ビジョンという意味もわからないと思う。事務局、コンサルの皆さんは大変だと思うが、足で稼ぎ、うまく説明していかなければならない。ワークショップの開催とあるが、その意味も分からないと思うので、説明が必要。そのようにしないと村の人達の意識が高まらない、良いネタがとりにくのではないか。 私も結婚をし、子どもができ幸せであるが、それを感じていない若い世代もいる。結婚したが、解消し、本土に行く、東海や関東など季節労働に流れているメンバーもかなりいる。高校で本土に行き、40歳手前で帰ってきて、結婚していないなど、その辺も気になるので、どんどんひも解き、掘り下げていくと色々な課題が見えてくると思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 調査に入るのだが、調査に行くというよりも、その気になってもらおうという方に入ってきてほしいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 国の方針に従い人口維持、増やさないといけないが、今帰仁村は状況が少し良い。出生率が高く、減少がゆるやかである。皆さんの意見と同じように、安易にIターン、無料で提供するのではなく、Uターン、魅力があれば自然に増えると思う。観光がうまくいけば、自然とファンが増え来てくれると思う。今回は郷友会にアンケートをとるなど、住む所があり、働き口があれば戻りたいという方も沢山いると思うので、その辺に焦点を絞り、4年、5年は意外と短い計画になると思うので、ピンポイントに絞り何

	<p>か良いアイデアを出したい。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早々に国に提案していることがあると聞いたが、紹介して頂けるか。今年度の予算で手をあげたところには、前倒して国が予算をつけると観光協会を中心に提案している内容。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光業界を中心に現在提案中、大学生を19人、19の各字に配置し、県外の東海大学の観光学科などの女子大生を観光大使にし、地域振興を進めていこうという提案がある。10月末決定予定。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局の紹介
事務局 企画財政課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皆さんの意見を取り入れていきたい。
事務局 企画財政課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局としてはなるべくお金を使わずに、地元が暮らしやすい生活ができるようなビジョンを、また5か年間の検証というものもあるので、実現できるような計画を立て頑張っていきたい。
事務局 企画財政課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私はUターン、学生時代に一度、村外に出て、今帰仁村で就職が決まったので帰ってきた経緯がある。委員の皆さんの話しを聞き感激している。一生懸命頑張っていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合計特殊出生率の関係で、沖縄のトートナー(位牌)継承があるが、男の子が生まれるまでという、まだその辺の関連もあるのかどうか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今帰仁には世界遺産があり、歴史があり、北山高校なども宝物として今後の議論にあがってくるだろう。農業がこれだけブランド化され、郷友会もしかり、色々ビジョンを考えると今帰仁村は楽しい。出来るベストメンバーであると思う。是非、10年後のものまで考えていきたい。よろしくをお願いします。
事務局 企画財政課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の日程確認 第2回策定委員会 12月2日(水) 午後3時～
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それではこれで第1回今帰仁村人口ビジョン総合戦略策定委員会を終わります。